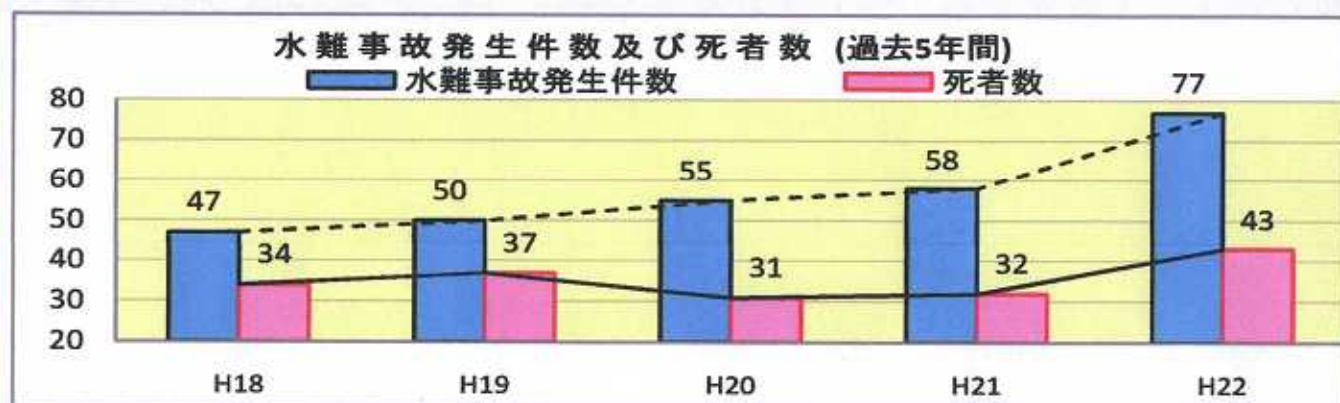


平成22年中の水難事故発生状況について

1 発生状況(過去5年間)



※ 前年比発生19件死者11人増加。過去5年間で最高値。

2 行為別の発生状況

		魚採り	シュノーケル	ダイビング	遊泳中	通行中	水遊び	その他	合計
H22	発生件数	19	13	13	13	5	4	10	77
	死者数	16	7	6	7	3	0	4	43
H21	発生件数	17	11	7	9	1	9	4	58
	死者数	15	8	1	5	2	1	0	32
増減	発生件数	2	2	6	4	4	-5	6	19
	死者数	1	-1	5	2	1	-1	4	11

※ ダイビング事故が、前年比 発生6件 死者5人と急増。

※ その他、オニダルマオコゼによる特異な刺傷死亡事故が発生。

3 観光客の水難事故

観光客の水難事故は発生28件(全体の約36%)、死者14人(全体の約32%)であり、その行為別では、

- ダイビング10件(死者5人)
- シュノーケル9件(死者5人)
- 遊泳中6件(死者3人)
- 水遊び2件(死者0人)
- 魚採り1件(死者1人)

となっている。

4 当面の課題

- 1 急増したダイビング事故の防止
- 2 毎年多く発生するシュノーケル事故の防止
- 3 県民の魚採りや貝採りによる事故の防止

を図るため、広報活動や事業所への注意喚起、情報提供を積極的に行っていきます。